

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年2月17日

【評価実施概要】

事業所番号	3071400240
法人名	医療法人 恵友会
事業所名	グループホームガーデンライフ
所在地	和歌山県海南市船尾265-8 (電 話) 073-483-3113

評価機関名	社会福祉法人 和歌山県社会福祉協議会		
所在地	和歌山県和歌山市手平二丁目1-2		
訪問調査日	平成21年1月29日	評価確定日	平成21年2月17日

【情報提供票より】(20年12月25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成13年6月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	11 人	常勤 7人, 非常勤 4人, 常勤換算 9.1人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	3 階建ての 2 階 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円		その他の経費(月額)	円
敷 金	有(円)		無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (200,000円) 無		有りの場合 償却の有無	有
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	200 円
	または1日当たり 1,000円			

(4) 利用者の概要(12月25日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	1 名	要介護2	2 名		
要介護3	5 名	要介護4	0 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84.4 歳	最低	76 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	恵友病院
---------	------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは病院・老人保健施設と併設されているため、利用者には病院の医師・看護師による健康管理が行き届いており、重度化した場合や終末期にも入院ができるなど家族からの安心を得ている。職員は利用者にゆっくり、のんびりした日々を送ってもらふことをモットーとしており、それが利用者の穏やかな表情にも窺うことができる。ホームで多様な趣味のボランティア活動が行われており、利用者は喜びと興味をもって参加している。また利用者は現在のもてる力や個性に応じ、炊事や洗濯物干し、掃除、畑仕事等の役割を行っている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 前回の外部評価の指摘事項については、サービスを見直す機会と捉え理念の新たな作成など具体的な改善が行われている。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 今回の自己評価は、管理者が記載したものを職員が目を通して管理者が取りまとめた。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議では、ホームからの報告による行事、研修、苦情、事故等を主な議題とし、メンバーから意見や具体的な提案が出され、それをサービスの向上に活かしている。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 苦情を受付ける窓口などを記載した文面を玄関入り口に掲示しており、出された苦情は職員間で話し合い、また 運営推進会議の議題とし、その結果、業務の見直し等を行っている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域のボランティアの協力により作品を作り、公民館主催の文化祭に出展したり、隣接する幼稚園児との交流会にも参加している。押し花や書道、歌はもとよりガーデンサポーターのボランティア等の訪問を通じての交流も行われている。

2. 評価結果（詳細）

（ ☐ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	真心と優しさ誠意をもってお年寄りに接することで地域福祉に貢献します。またゆっくりのんびり○（まあるく）行こうという独自の理念をつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は職員間で話し合い、作成しているので共有している。理念をホームの目につくところに掲げており、利用者一人ひとりのペースに合わせて、ゆっくりのんびりした日々を送ってもらうよう職員もおだやかな気持ちで接している。		
ホーム内に目につくところに掲げ					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域のボランティアの協力で押し花などの作品を作り公民館主催の文化祭に出展したり、隣接する幼稚園と老人保健施設の交流会に参加している。また書道や歌のボランティアや屋上庭園のガーデンサポーターの定期的な訪問などを通じて地域との交流も行われている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回の自己評価は、管理者が書いたものを職員が目を通して管理者が取りまとめた。前回の外部評価の指摘事項については、サービスを見直す機会として捉え、理念の新たな作成など具体的な改善が行われている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2か月に一度開催しており、ホームの行事や研修・苦情・事故等の報告を行い、メンバーから感想や意見、具体的な提案等をいただいてサービスの向上に活かしている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者とは苦情があったとき等に相談して、共にサービスの向上に取り組んでいる。また介護事業所の指定更新や、近隣町からの入居などについても質問し連携するようにしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月の利用料の支払いは家族がホームへ持参することとしており、来訪時には利用者の暮らしぶりや健康状態を報告している。また事故や健康状態などで急を要するときは、随時電話などで報告したり来てもらうこともある。なお職員の異動は壁面に顔写真を貼って知らせている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族から不満・苦情等が出されたときは上司に報告するとともに、職員間で話し合い、また運営推進会議でも報告して検討し、業務の見直し等を行っている。なお「苦情を受け付ける時に講じる措置の概要」という文面を玄関入口に掲示して、苦情申し出の窓口などを家族に知らせている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	昨年の春に職員の定年退職による大幅な異動があり、経験の浅い職員が増えて利用者や家族に不安を抱かせることになった。	○	退職年齢による離職は止むを得ないが、今後離職が利用者にダメージ与えることのないよう、引継ぎや新しい職員と利用者とのコミュニケーションを深める配慮や対応が望まれる。
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内で年数回、感染症対策、接遇、応急手当、その他をテーマにした講習が行われており、ホームの職員が参加している。外部では県グループホーム連絡会が主催する研修会に毎回参加している。外部研修の通知があれば掲示して職員が希望し業務の都合がつけば参加できるようにしている。経験の浅い職員の受講にも配慮している。なお新しい職員には現場で介護の仕方を見て憶えてもらうよう指導している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県グループホーム連絡会や地域ケア会議へ参加して同業者と交流したり、またグループホーム間の相互実習にも参加してサービス向上の参考にしている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	希望する利用者・家族に入居までに何度か見学してもらい、入居後は利用者の言葉や行動をよく観察するようにしている。また、家族に本人の様子を報告したり、利用者を支援していく上で生じた疑問なども家族と相談し、徐々に職員や他の利用者、ホームの雰囲気に馴染んでもらうようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者と炊事などの家事や多様な遊びなどを一緒に行き、その中で調理の味付けや野菜・花の育て方などを利用者の経験や知識から教わることもある。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の意向や希望を本人とのコミュニケーションや利用者同士の会話の中から聞き出すように努めている。意向等がその時々で変わったり、本人から引き出すのが困難になっている利用者は、家族に相談したり職員間で情報交換し検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	一人ひとりのケアのあり方や課題については、本人・家族の願いを踏まえて医師など必要な関係者とも話し合い、目標や日々の生活の中での支援を内容とする介護計画を作成している。作成後、家族に説明して同意を得ている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は実施状況を職員間で話し合い、必要に応じ医師や理学療法士等と相談して見直しており、健康状態等に変化が生じたときはその都度見直している。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	併設する母体法人の病院と医療連携をしており、毎週4回医師の訪問診察を受けている。夜間でも24時間、医師・看護師と連絡可能な体制をとっている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	全員の利用者が、家族の希望により併設している病院の医師をかかりつけ医としており、月一回外来で受診している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時の重要事項の説明の中で、「医療連携体制・看取り等に関する指針」等により、重度化した場合や終末期の対応について家族に話している。また殆んど家族・利用者は重度化した場合や終末期は併設病院での看取りを希望しており、最終判断は医師と家族との話し合いになっている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の誇りやプライバシーを傷つける言動がないよう職員に研修し徹底させている。なお個人情報の取り扱いも注意しており、個人記録は事務室の鉄庫に保管し漏れないようにしている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合等を優先しないよう注意し、危険のない限り利用者のペースや時間にあわせ暮らしてもらうよう支援している。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の食べたいものや食べる量を把握し、調理の参考にしている。また利用者は職員と一緒に味付けをしたり、当番制で後片付けを手伝っている。なお屋上菜園で採れた野菜を食材にし季節感を味わって楽しむときもある。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	重度の介助を必要とする人には時間を決めて入浴してもらっており、軽度の支援でよい人には、自宅での入浴時間に合わせて入浴してもらっている。また入浴する・しないについては、本人の当日の意思を尊重している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	炊事、洗濯物干し、掃除などの家事や畑仕事など、利用者のもてる力や好みに合った役割をしてもらっている。なおボランティアの協力により、お茶、押し花、習字、歌などのレクリエーションを楽しんでいる。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホームは2階部分にあり、利用者は一人で外出すると、戻って来れなかったり事故に遭う可能性もあるので、外出するときは職員が付添って近辺の散歩や買い物の支援を行っている。季節により弁当をもって外出したり、屋上ガーデンに上れば花や野菜などを植えており外気に触れることもできる。		
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員が手薄になる時間帯に限り玄関に鍵をかけるようにしており、扉を開ければ音で感知することができる。なお居室には鍵をかけていない。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	法人で行う避難訓練に年2回参加しホームの出口まで誘導している。また職員は消火器の扱い方などの防火講習にも参加している。しかし、地域の人々への協力の働きかけは行っていない。	○	今後避難について、地域の人々の理解や協力が得られるような働きかけを期待する。

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養については併設病院の栄養士とも相談し、肉類や魚、野菜などのバランスを考えている。また栄養補助食品を摂取している人もいる。なお利用者の体調にあわせて、食べる量や刻み食・ミキサー食やとろみをつけるなどの工夫をしている。水分摂取量もチェックし、食事以外におやつの時間や夜間にお茶を用意して水分がとれるようにし、摂取量を記録している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共同室や廊下には行事の写真や押し花の作品、書道の作品などを掲示しており、また節分の飾りをいくつか掲げたり、めだかを飼って季節感が出るようにしている。室内は職員の声や部屋の明るさも適当である。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は造花や人形、手芸品等を飾り、テレビを設置する等、居心地よく過ごせるように配慮されている。		